

■現地の学校の様子



ヤンゴンの教員養成校附属中等学校。
本事業の防災トレーニング実施対象校の
1つです。

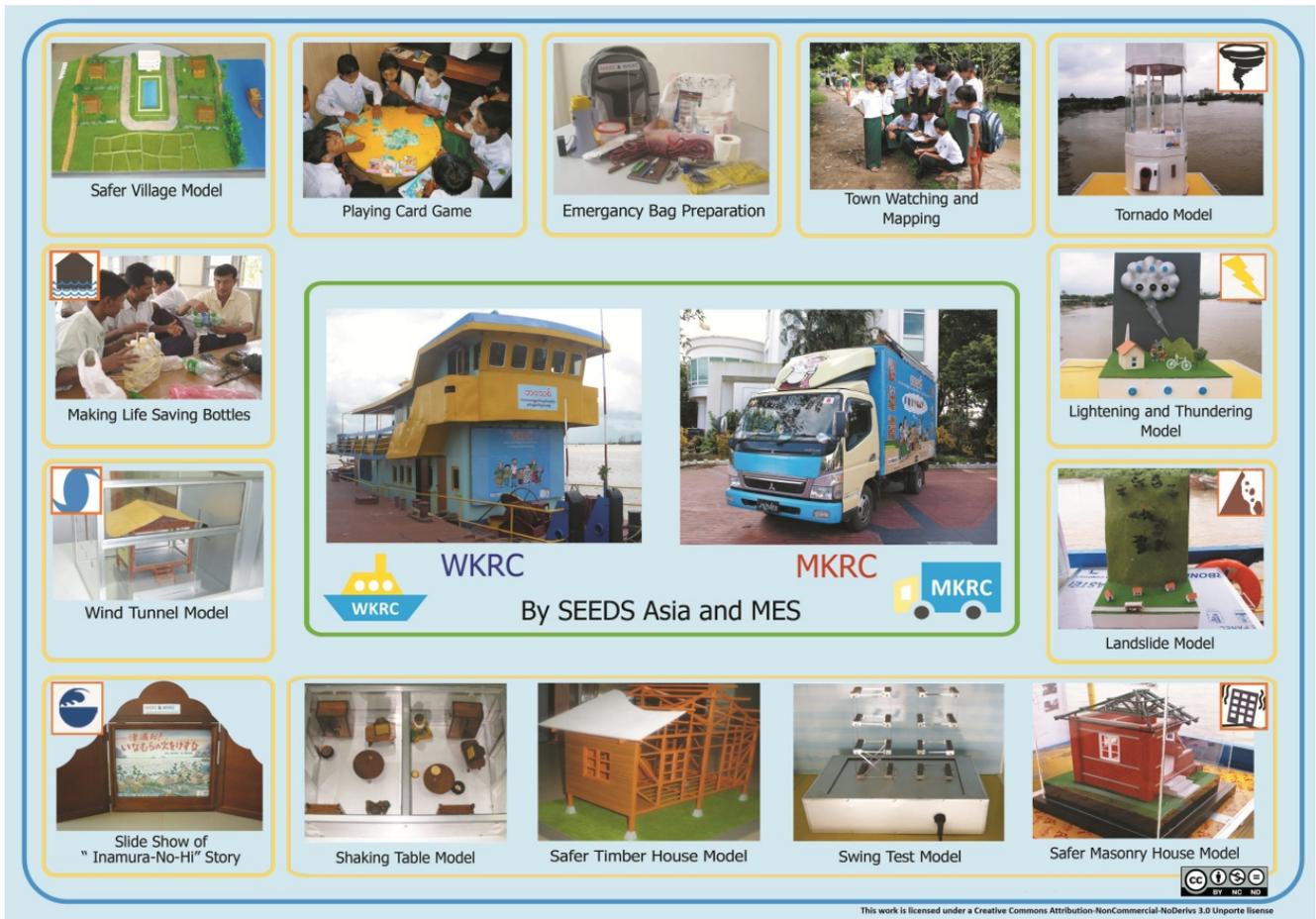


雨季の沿岸部の学校の様子。
雨季に発生する洪水で、校庭まで浸水して
しまうところがあります。



校内の浸水は、感染症や蛇咬みの要因
にもなり、災害から身を守るための基本的
な知識の習得が求められています。

■第1フェーズまでに開発した防災教材



This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-NoDerivs 3.0 Unported license

これまでに開発した移動式防災教室の教材一覧。
サイクロン、洪水、地震、津波、雷、竜巻、雷、土砂災害について
わかりやすく、かつ楽しく理解できるように、災害の仕組みや、対処を
見たり触ったりしながら理解できるシミュレーションモデルの開発を
進めてきました。



災害の発生メカニズムや、防災
について学習するためのカード
ゲームやポスター。
第2フェーズでは、ミャンマーで
近年被害が増加している火事
に対応するため、火災対策用の
ポスターや、カードゲームを
作成します。

SEEDS Asia 日本 NGO 連携無償資金協力
トラック型移動式防災教室を用いた防災教育事業(第2フェーズ)
事業前写真



■第1フェーズ期間中の学校での防災トレーニングの様子



第2フェーズでも活躍予定のトラック型移動式防災教室の外観。楽しいイラストで参加者たちを惹きつけます。

トラック内には、災害について学ぶことができるポスターが掲示されています。写真では、教員に対して、SEEDS Asia のスタッフが災害発生の仕組みを説明しています。



トラック内には、災害についてわかりやすく教えるための模型が搭載されています。写真では、SEEDS Asia のスタッフが安全な村づくりについて、模型を活用しながら説明しています。

■第1フェーズ期間中の教育省職員及び教員養成校での研修の様子



2011年2月には移動式防災教室の教材貸出サービスにより、教育省職員向けの防災教室を実施。その後、より効果的な防災教材の活用について同省と協議を重ねました。



教育省の要望を受け、2011年4月に、教員養成校で、教員志望者向けの防災教育のパイロット研修を実施しました。(エヤワディ地域パテイン校)。

これらのトレーニングの効果がミャンマー政府教育省にも認められ、第2フェーズでは、エヤワディ地域、ヤンゴン地域、バゴー地域、ラカイン州内のすべての教員養成校とその付属校で、トラック型移動式防災教室を活用して、本格的に防災教育トレーニングを実施することになりました。



教員養成校(ヤンゴン地域・ヤンキン校)